長岡中央綜合病院　倫理委員会　オプトアウト書式

①　研究課題名	胃癌手術症例に対する術前大腸内視鏡検査の意義
②　対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
当院にて 2015 年から 2024 年の 10 年間に胃癌に対して手術を施行した 1,201 例	
③　概要	
2021 年の統計によると、本邦における癌罹患数は大腸、肺、胃の順で多く、胃癌と大腸癌の重複は比較的高頻度にみられる。当院では、胃癌患者に対し可能な限り術前に大腸内視鏡検査を行っている。過去の報告では、大腸癌発見率は 2～4.8%とされている。当院では高齢患者が多く、さらに高い割合で大腸癌の重複が予想され、その実態を調査する。	
④申請番号	第 698 号
⑤研究の目的・意義	胃癌手術症例に対する術前大腸内視鏡検査の意義を検討する。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から 2026 年 3 月 6 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	後方視的なカルテ調査を用いた観察研究（個人情報の他施設への情報提供なし）
⑧利用または提供する情報の項目	年齢、性別、大腸内視鏡所見、胃癌進行度
⑨利用の範囲	第 98 回日本胃癌学会で発表予定
⑩試料・情報の管理について責任を有する者・連絡先	河内保之　外科医局
⑪お問い合わせ先（照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先）	医療支援課　0258-35-3700（代表）